



国際ロータリークラブ第2670地区徳島第2分区

美馬ロータリークラブ週報

2011年11月8日 火曜日 Vol.266

例会出席者	21名(会員総数32名)	65.62%
メーキャップ	廣川公利君、石井正司君、森廣一君、小田教仁君、三好亘君 外6名	修正出席率 100.00%
ゲスト	徳島中央ロータリークラブ会長 宮内邦寛様 JTMとくしま日本語ネットワーク 兼松文字様	
会長挨拶	藤野 章二会長	

今日は立冬、暦の上では本日から冬と云うことですが、温暖化の影響か最近のお天道様の気分は暦通りとはいかない様です。ならばこのまま温かい日が続けてくれるなら東北の被災地で苦しむ人達にとっては大変ありがたいと思うのですが……………。

衆院の予算委員会が始まり、三次補正通過を10日に目し今日も大震災、そして原発事故直後の検証に係る与野党の論戦が、一見活発に展開されている様です。しかしながら、時々見るテレビの画面からは、与野党の議員いづれにも本当に被災地を憂い、被災者の痛み苦しみを思いやる人間としての熱い想いが、伝わってこないと感じるのは、私だけでしょうか……………？

元経産省の官僚古賀茂明氏は、最近出版の本の中で「大震災、原発事故の一報を受け当時の菅首相の脳裏を真っ先に占めたのは「これで逃げ切れる」と云う想いではなかったか？震災前の政権は諸難題を抱えまさにグロッキー状態、そこに未曾有の大震災、必死に対策に取り組む姿勢を見せる事で、末期的な状況を呈していた支持率を回復させ延命させる絶好の機会、まさに千載一遇のチャンス到来だ！！「菅総理は、おそらくそう考えたはずだ。」とはっきり断じております。

3月12日以後の対応を思い起こしてみると、なるほどと腑に落ちるところがあると思います。

人を動かすのは心、人を導きリードするのは真心から発する行動であると思いますが、日本丸の船長は、まさに心、ここにあらずであったのかと思うと、お寒い限り空しいばかりです。せめて、野田首相には、二代続いた混迷政権のツケの重みにおしつぶされる事なく希望をかかげ立ち上がる、明るい展望を開く事を期待したいものです。

幹事報告 前田豊太郎幹事

到着週報 … 阿波池田RC, 鴨島RC, 脇町RC

到着書類

- ・地区雑誌委員長会議の報告
- ・国際大会の参加案内

連絡事項

- ・先週の定例理事会において、次週11月15日の例会は移動例会とことに決定。
- ・各委員会は今期の事業計画の進捗状況を確認してください。

委員会報告

職業奉仕委員会 川田勝義君

- ・来週11月15日の例会は、ホウエツ病院での移動例会です。
同病院4階が会場です。18時30分に正門玄関が閉まります。遅れる人は裏口の救急入り口から入ってください。

卓話

JTMとくしま日本語ネットワーク 日本語教師 兼松文子様

《誰もが社会とのつながりを感じられるようなチャレンジができる地域づくりへの取り組みについて》



- ・ J T とくしま日本語ネットワークの活動
最初は日本語教師とそれを目指す人たちの集まりだった。
さまざまな経歴を持った会員
転機をもたらした活動
ニーズがあって既存の支援や制度にないものに取り組む
- ・ 活動を導いてくれた珠玉のことば
- ・ 一人ひとりの生き様、ストーリーに耳を傾ける
- ・ 外国人支援ネットワークづくりのために
- ・ 誰もが社会とのつながりを感じられるようなチャレンジができる地域づくりへの取り組み

ニコニコ

戸島健治君、宮内邦寛様（徳島中央RC）

欠席者

千葉正樹君、藤田茂樹君、石井正司君、林秀樹君、美馬眞澄君、小田教仁君、浪越繁男君、七田貞義君、渡川悟君、三好亘君、吉田宥勝君